

令和 7 年 度

事業報告書
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和 7 年 度

事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

本年度の令和 8 年 3 月 31 日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

1. 会員

正会員数 23 会員
・地区乗馬倶楽部振興会 20 会員
・目的賛同団体 3 会員
賛助会員数 5 会員

2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規定に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年比 3 乗馬施設の増加(7 施設増、4 施設減)、乗用馬登録は前年比 29 頭の増加、乗馬指導者は前年比 13 名の増加であった。

乗馬施設 297 施設 【別表 1】
乗用馬 5,392 頭 (令和 7 年 4 月末時点の登録数)
乗馬指導者 1,990 名 (上級 B 141・W 14 名、中級 B 214・W 23 名、初級 B 1,509・W 89 名)

【別表 1】 令和 7 年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和 7 年度				(参考) 令和 6 年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1.	北海道	北海道 23 (2)	23	1		(2)	22
2.	東 北	青森 2 岩手 3 山形 2 宮城 5 秋田 1 福島 1	14				14
3.	北関東	栃木 9 茨城 16 群馬 5	30	1	1		30
4.	埼 玉	埼玉 14	14				14
5.	千 葉	千葉 28 (2)	28		1	(2)	29
6.	東 京	東京 4	4				4
7.	神奈川	神奈川 20	20				20
8.	北 陸	新潟 2 富山 0 石川 2 福井 2	6				6
9.	長 野	長野 9	9				9
10.	山 梨	山梨 7 (1)	7	1	1	(1)	7
11.	静 岡	静岡 18	18		1		19
12.	東 海	愛知 8 岐阜 4	12				12
13.	東近畿	三重 10 (2) 奈良 6	16	1		(2)	15
14.	近 畿	滋賀 9 京都 5 大阪 9 和歌山 2	25*	2			24
15.	兵 庫	兵庫 10	10*				9
16.	中 国	岡山 5 広島 9 (1) 鳥取 1 島根 2 山口 5	22			(1)	22
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 1 徳島 1	6				6
18.	北部九州	福岡 12 佐賀 2 (1)	14			(1)	14
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 2	11				11
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 5 沖縄 2	8	1			7
	合 計		297	7	4	(9)	294

※近畿地区より兵庫地区へ 1 クラブ移転

【新規登録乗馬クラブ】7件

真駒内乗馬クラブ	(北海道地区 : 北海道)
公益財団法人群馬県馬事公苑	(北関東地区 : 群馬県)
アルテミスホースライディングクラブ カントリー	(山梨地区 : 山梨県)
特定非営利活動法人 鈴鹿市馬術協会	(東近畿地区 : 三重県)
栗東 stable	(近畿地区 : 滋賀県)
ホースファーム貝塚	(近畿地区 : 大阪府)
カナディアンキャンプS O O	(南九州地区 : 鹿児島県)

【退会乗馬クラブ】4件

よつば乗馬クラブ	(北関東地区 : 茨城県)
サイトウ乗馬苑	(千葉地区 : 千葉県)
ホースブリッジ	(山梨地区 : 山梨県)
ヴィルタスライディングクラブ	(静岡地区 : 静岡県)

【休会乗馬クラブ】9件

白井牧場 不二ファーム乗馬クラブ	[2年目]	(北海道地区 : 北海道)
うらかわ優駿の里振興株式会社 うらかわ優駿ビレッジ「AERU」	[1年目]	(北海道地区 : 北海道)
株式会社アマハホースクラブ	[2年目]	(千葉地区 : 千葉県)
株式会社東関東ホースアンドハウンド	[1年目]	(千葉地区 : 千葉県)
八ヶ岳乗馬会	[1年目]	(山梨地区 : 山梨県)
フォレストクラブ	[2年目]	(東近畿地区 : 三重県)
有限会社ラ・シュボーシェ	[1年目]	(東近畿地区 : 三重県)
江田島乗馬クラブ	[1年目]	(中国地区 : 広島県)
あおぞら乗馬クラブ	[1年目]	(北部九州地区 : 佐賀県)

3. 諸会議等

令和7年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会

6月17日

議題

1. 令和6年度 事業報告
2. 令和6年度 会計決算報告
3. 理事辞任に伴う後任理事の選任
4. 役員の報酬等の支給に関する規程の改正

臨時社員総会

みなし決議による臨時社員総会

- ・臨時社員総会の決議があったものとみなされた日
令和8年3月17日
- ・臨時社員総会の決議があったものとみなされた事項
議題
1. 理事辞任に伴う後任理事の選任

《理事会の開催》

第1回理事会

5月27日

議題

1. 令和7年度定時社員総会に付議する議案について
2. 令和7年度定時社員総会の開催
3. 規程の改正
4. 賛助会員の入会

第2回理事会

理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議

- ・理事会の決議があったものとみなされた日
7月29日
- ・理事会の決議があったものとみなされた事項
議題
1. 寄附金の受入について

第3回理事会

令和8年2月24日

議題

1. 令和8年度事業計画および収支予算
2. 令和8年度役員選考委員の選定について
3. 特定資産の取り崩しについて
4. 令和7年度収支補正予算について
5. 令和7年度臨時社員総会の開催について
6. 規程の改正
7. 内閣府への「変更の届出」について

第4回理事会

理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会決議

- ・理事会の決議があったものとみなされた日

令和8年3月17日

- ・理事会の決議があったものとみなされた事項

議題

1. 業務執行理事（専務理事）の選定
2. 常勤役員の報酬月額

《その他の会議等の開催》

常務理事会

5月27日、令和8年2月24日

地区会長会議

令和8年2月25日

4. 人事関係

令和7年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選任理事 伊藤 幹 (6月17日)

退任理事 菊田 淳 (6月17日)

〃 理事(専務) 阿部 憲二 (令和8年3月31日)

5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

(1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業（公益目的事業）

日本中央競馬会（以下「JRA」という。）からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、60件の事業を実施した。

- ・事業推進委員会の開催

第1回：12月15日、第2回（補助金交付のため）：令和8年2月18日

(2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業（公益目的事業）

JRA からの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらうため、また、引き続き馬への親しみや理解を深めてもらうための事業を実施した。実施件数は現地訪問型 167 件、乗馬施設招致型 116 件、都市部開催型 1 件の合計 284 件であった。

- ・事業推進委員会の開催

第1回（補助金交付のため）：12月15日

(3) 乗馬技能認定事業（公益目的事業）

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は9,894名、合格者9,487名であり、審査回数は4,356回、技能認定審査実施乗馬施設数は164施設であった。

【別表2】

【別表 2】令和 7 年度 乗馬技能認定結果

(単位：名)

級 / 年度		令和 7 年度		令和 6 年度		前年度比
審査回数		4,356		4,373		99.6%
乗馬クラブ数		164		164		100.0%
5 級	申請者数	4,393		4,987		88.1%
	合格者数・率	4,385	99.8%	4,977	99.8%	88.1%
ウエスタン 5 級	申請者数	53		63		84.1%
	合格者数・率	53	100.0%	62	98.4%	85.5%
4 級	申請者数	2,420		2,456		98.5%
	合格者数・率	2,372	98.0%	2,426	98.8%	97.8%
ウエスタン 4 級	申請者数	33		39		84.6%
	合格者数・率	33	100.0%	38	97.4%	86.8%
3 級	申請者数	1,385		1,299		106.6%
	合格者数・率	1,220	88.1%	1,165	89.7%	104.7%
ウエスタン 3 級	申請者数	15		32		46.9%
	合格者数・率	15	100.0%	30	93.8%	50.0%
エンデュランス 3 級	申請者数	26		44		59.1%
	合格者数・率	26	100.0%	41	93.2%	63.4%
3 級障害	申請者数	236		226		104.4%
	合格者数・率	223	94.5%	200	88.5%	111.5%
2 級障害	申請者数	161		169		95.3%
	合格者数・率	146	90.7%	145	85.8%	100.7%
2 級馬場	申請者数	655		588		111.4%
	合格者数・率	553	84.4%	459	78.1%	120.5%
ウエスタン 2 級	申請者数	9		3		300.0%
	合格者数・率	7	77.8%	3	100.0%	233.3%
エンデュランス 2 級	申請者数	13		20		65.0%
	合格者数・率	13	100.0%	15	75.0%	86.7%
1 級障害	申請者数	128		133		96.2%
	合格者数・率	120	93.8%	119	89.5%	100.8%
1 級馬場	申請者数	358		297		120.5%
	合格者数・率	312	87.2%	260	87.5%	120.0%
ウエスタン 1 級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
エンデュランス 1 級	申請者数	9		0		—
	合格者数・率	9	100.00%	0	—	—
合計	申請者数	9,894		10,356		95.5%
	合格者数・率	9,487	95.9%	9,940	96.0%	95.4%

なお、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格 B 級への移行措置者は 163 名であった。

【別表 3】

【別表 3】 令和 7 年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B 級移行者数

(単位：名)

技能認定	障害	馬場	エンデュランス	合計
	1 級	1 級	1 級	
人数	81	77	5	163
移行先	B 級	B 級馬場馬術限定	B 級エンデュランス限定	

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は 657 名であった。

【別表 4】

【別表 4】 令和 7 年度 ポニーライダー登録者数

(単位：名)

級 / 年度	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
5 級	137	144	95.1%
4 級	82	58	141.4%
3 級	49	55	89.1%
2 級	29	20	145.0%
1 級	33	15	220.0%
合計	330	292	113.0%

(4) 普及乗馬大会 (公益目的事業)

① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6 月 26 日～29 日の 4 日間、JRA 馬事公苑で開催した。

② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、20 地区振興会、1 団体会員で開催した。

(5) 乗用馬取扱講習会事業 (公益目的事業)

令和 8 年 2 月 4 日に、大阪府豊能郡能勢町において学校関係者を対象に、安全な馬の取り扱いに関する講習会を開催した。参加者 5 名

(6) 乗馬普及広報事業 (公益目的事業)

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティや小冊子の配布を行った。

(7) 乗馬活動保険推進事業 (公益目的事業)

JRA からの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額 (年間) に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じた補助金を交付した。

(8) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業（公益目的事業）

1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱う人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、青少年・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

地 域 振 興： 5 会場 合計参加者数 171 名（延べ人数）

青 少 年： 4 会場 合計参加者数 216 名（延べ人数）

障がい者ホースセラピー： 11 会場 合計参加者数 367 名（延べ人数）

※20 会場 合計参加者数 754 名（延べ人数）

・事業推進委員会の開催

（中央委員会：3月18日）第1回：4月16日、第2回：8月28日、第3回：12月25日

第1回：令和8年2月17日（JRAにおける令和8年度事業として開催）

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、国内における現状や資格制度に関する意見交換会を実施した。また、ホースセラピーに関わる国内での講習会を開催するため、委員会を開催した。

・障がい者乗馬・ホースセラピー制度に関する意見交換会の開催

第1回：12月3日、第2回12月25日

・事業推進委員会の開催

第1回：令和8年2月17日（JRAにおける令和8年度事業として開催）

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外の講師を招いて、引退競走馬の乗馬や馬術における更なる活用と転用促進を目的とした講習会を開催した。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国29大会で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・（国内講師）講習会の開催

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」

4 会場 合計参加者数 386 名（延べ人数）

・（外国講師）講習会の開催

「引退競走馬でリオオリンピックに出場したボイド・マーティン氏の講習会」

1 会場 3 日間 89 名（延べ人数）（受講者：60 名・見学者：29 名）

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

障 害 馬 術： 12 大会 合計申込頭数 442 頭

馬 場 馬 術： 8 大会 合計申込頭数 205 頭

総 合 馬 術： 4 大会 合計申込頭数 103 頭

T R E C： 2 大会 合計申込頭数 24 頭

F I N A L： 3 大会（障害・馬場・総合 2 会場）

※ 29 大会 合計 774 頭

・事業推進委員会の開催

（第1回：2月10日）、第2回：8月26日、第3回：12月23日

第1回：令和8年2月10日（JRAにおける令和8年度事業として開催）

- 4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業
 一般財団法人 Thoroughbred Aftercare and Welfare と共管する事業。
 宮古馬を始めとする在来馬の保存・利活用について、課題解消に向けた健康状態の確認、飼養管理・利活用のための研修・講習会の開催及び関係者の調査・研究を支援した。
 また、馬に携わる者（グルーム）が専門的な知識・技術を円滑に取得する機会を提供するとともに、海外の取組みを参考として国内における馬に携わる者（グルーム）のあり方等を検証した。
- 5) 馬介在活動普及推進事業
 日本中央競馬会馬事公苑において、特定非営利活動法人ピスカリと共同で馬介在活動等の実践と調査研究を行い、普及促進等を行った。

6. 乗馬施設整備関係事業

(1) 優良乗馬施設認定事業（公益目的事業）

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和 8 年 3 月 26 日に優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。

現在 155 乗馬施設が認定されている。

(2) 乗馬施設再貸付事業（収益事業等）

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、（公財）畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

18 乗馬施設へ 22 件、取得価格総額 108,813,100 円の乗馬施設再貸付を実施した。【別表 5】

【別表 5】令和 7 年度 （公財）畜産近代化リース協会関係 事業実施状況（新規）

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	貸付開始日
MRC 乗馬クラブ松山	マイクロバス	1	6 月 1 日
SILVANO STABLES	馬積載箱	1	令和 8 年 3 月 1 日
ライディングクラブフジファーム	ホーストレーニングマシン	1	4 月 1 日
長谷川ライディングファーム	ダンプトラック	1	6 月 1 日
長谷川ライディングファーム	スキッドステアローダー	1	6 月 1 日
乗馬クラブスタリオンステーブル	ホイルローダー	1	7 月 1 日
(株)ボナンザ牧場 ボナンザ乗馬クラブ	ワゴン車	1	5 月 1 日
岡山乗馬倶楽部	ウォーキングマシン	1	6 月 1 日
蒜山ホースパーク	フォークリフト	1	7 月 1 日
ドレッサージュ・ステーブル・テルイ	ワゴン車	1	6 月 1 日
山口東部スマイルホースファーム	簡易式厩舎	1	9 月 1 日
ドレッサージュ・ステーブル・テルイ	換気扇	2	8 月 1 日
イデア馬事苑	血液分析装置	2	9 月 1 日
OISO 乗馬クラブ	油圧ショベル	1	10 月 1 日

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	貸付開始日
ほくせい乗馬クラブ	ボイラー	1	12月1日
Riding Club CARECA	ウォーキングマシン ・簡易式馬場柵	3	令和8年1月1日
(公社)神戸乗馬倶楽部	トラクター	1	令和8年2月1日
中本乗馬倶楽部	簡易式厩舎	1	令和8年3月1日
合 計	18 施設	22 件	

7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業（公益目的事業）

（公財）全国競馬・畜産振興会からの助成を受けての事業を実施中。

本協会の乗用馬登録をした馬匹 5,392 頭を対象に、軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬に対し、予防接種費の補助金を交付した。

なお、登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、8月13日、令和8年3月18日に「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。

(2) 在来馬乗用化推進事業（公益目的事業）

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、在来馬を飼養管理する現地保存会の要請に応じて馴致・調教の講習会を開催した。なお、公設動物園、在来馬飼養管理者を対象とした馴致・調教の講習会（集合講習会）は令和8年1月に実施した。

・在来馬乗用化推進事業現地講習会

会 場：宮古馬放牧場（沖縄県宮古島市長間）
荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・宮古島市下地与那覇）等

日 程：12月18日～20日
宮古馬の現地飼養管理者を対象に馴致調教方法・飼養管理方法の指導

参 加 者：13名（延べ人数22名）

・在来馬飼養管理者集合講習会

会 場：宮古馬保存会宮古馬飼養管理施設（沖縄県宮古島市長間）
荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・宮古島市下地与那覇）等

日 程：令和8年1月20日～23日
全国で在来馬を飼養管理している者ならびに現地で宮古馬を飼育管理している者を対象に初期馴致ならびに基礎調教を指導

参 加 者：15人（延べ人数50名）

(3) 国産乗用馬生産育成推進事業（公益目的事業）

（公財）全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

・多様なニーズに対応する馴致調教指導事業

事業の効率的かつ円滑な推進に関する検討及び達成目標等の自己評価方法を検討するため、多様なニーズに対応する馴致調教指導事業推進委員会を、7月8日に開催した。

遠野・十勝・根釧の生産団体からセレクトされた若馬各5頭に対して、本協会乗馬指導者有資格者を現地に派遣し、調教期間の初期に馬の適性の見極め及び乗用馬市場までの調教方法について指導した。また、乗用馬市場直前にも現地派遣し、馴致調教を指導した。

現地指導事業 〈調教初期〉

遠野地域：8月4日～6日	参加者：5名
十勝地域：7月11日～12日	参加者：5名
根釧地域：8月1日～3日	参加者：12名

現地指導事業 〈市場前仕上げ〉

遠野地域：10月8日～14日	参加者：6名
十勝地域：10月3日～7日	参加者：5名
根釧地域：10月4日～7日	参加者：19名

8. 資格認定関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会（公益目的事業）

① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門2会場で実技講習会を開催した。【別表6】

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級を東西2会場で、ウエスタン部門中級を東日本地域で実施した。ウエスタン部門中級の西日本地域及び上級は申込みが無く中止とした。【別表6】

(2) 乗馬指導者資格認定（公益目的事業）

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を10月21日に全国7カ所で一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西2カ所に分け、東日本地域は11月18日山梨県馬術競技場、西日本地域は11月11日三木ホースランドパークで開催した。

ウエスタン部門の初級・中級は全国2カ所に分け10月23日に北海道地域はRanch Sun West、東日本地域はWrangler Ranchで開催した。また、ウエスタン部門の上級は、申込が無く中止とした。

【別表6】

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

令和8年度の試験問題及び実施方法を検討する委員会をJRA新橋分館で12月2日に開催した。

③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、6月3日に東京都港区で実務研修を開催した。

④ 合否判定会議

12月2日にJRA新橋分館において乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

＜ブリティッシュ＞ 75名合格（初級68名、中級4名、上級3名）

＜ウエスタン＞ 8名合格（初級6名、中級2名）

(3) 乗馬指導者巡回指導（公益目的事業）

担当講師と会場のスケジュールが合わず中止とした。

【別表6】令和7年度乗馬指導者養成講習会・資格認定試験

受講者数:179名

受験者数:166名

合格者数:83名

(単位:名)

区分		地域	会場	養 成 講 習 会			資 格 認 定 試 験				
				期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率
初 級	ブリ ティ ッ シュ	北海道	にいかっぷホロシリ乗馬クラブ	6/24～6/26	12	12	10	10	1	9	10.0%
		東 北	馬っこパーク・いわて	7/7～7/9	15	13	14	14	7	7	50.0%
		関 東	中島トニアシュタル	6/9～6/11	69	67	64	64	34	30	53.1%
		北陸・中部	福井ホースパーク	9/17～9/19	9	8	6	6	2	4	33.3%
		関 西	鶴見緑地乗馬苑	6/30～7/2	34	31	30	30	15	15	50.0%
		中国・四国	蒜山ホースパーク	9/1～9/3	6	6	5	5	2	3	40.0%
		九 州	福岡県馬術競技場	6/23～6/25	14	14	13	12	7	5	58.3%
	小 計				159	151	142	141	68	73	48.2%
	ウ エ ス タ ン	北海道	Ranch Sun West	6/10～6/12	5	5	5	5	3	2	60.0%
		東日本	Wrangler Ranch	6/24～6/26	6	6	6	6	3	3	50.0%
小 計				11	11	11	11	6	5	54.5%	
初 級 合 計				170	162	153	152	74	78	48.7%	
中 級	ブリ ティ ッ シュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/2～9/3	6	6	6	6	3	3	50.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	9/9～9/10	5	5	2	2	1	1	50.0%
	小 計				11	11	8	8	4	4	50.0%
	ウ エ ス タ ン	北海道	Ranch Sun West	6/10～6/12	2	2	2	2	2	0	100.0%
		東日本		実施せず							
	小 計				2	2	2	2	2	0	100.0%
	中 級 合 計				13	13	10	10	6	4	60.0%
上 級	ブリ ティ ッ シュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/2～9/3	2	2	2	2	1	1	50.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	9/9～9/10	2	2	2	2	2	0	100.0%
	小 計				4	4	4	4	3	1	75.0%
	ウ エ ス タ ン	東日本		実施せず							
		西日本		実施せず							
	小 計										
	上 級 合 計				4	4	4	4	3	1	75.0%
合 計				187	179	167	166	83	83	50.0%	

注)

1. ウェスタン中級の東日本及びウェスタン上級東日本・西日本は申込者がいないため、開催せず。
2. 初級乗馬指導者資格認定試験は、ブリティッシュ10月21日、ウェスタン(中級含む)10月23日に実施。
3. ブリティッシュ中・上級の乗馬指導者資格認定試験は学科10月21日、実技・面接は東日本11月18日、西日本11月11日に実施。

(4) 乗馬指導者競技会（公益目的事業）

① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため 6 月 26 日～27 日の 2 日間、JRA 馬事公苑で、ブリティッシュ部門のみ開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会

ブリティッシュ部門を 7 地域において一般の競技会と併せて実施した。ウエスタン部門は北海道、東北、関東、九州の 4 ヶ所で実施した。

【別表 7】

【別表 7】 令和 7 年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	9 月 27 日～28 日	ノーザンホースパーク
東北	8 月 22 日	仙北市馬術競技場
関東	8 月 15 日	山梨県馬術競技場
北陸中部	12 月 12 日～14 日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	9 月 22 日、11 月 23 日	水口乗馬クラブ
中国四国	12 月 13 日～14 日	エヒメ乗馬クラブ
九州	令和 8 年 3 月 21 日	福岡県馬術競技場
ウエスタン北海道	6 月 21 日	ランチサンウエスト
ウエスタン東北	6 月 28 日	南相馬市馬事公苑
ウエスタン関東	6 月 7 日	山梨県馬術競技場
ウエスタン九州	11 月 15 日	福岡県馬術競技場

(5) 乗馬指導者資格更新講習会（公益目的事業）

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、2 地域において救急救命や指導者としてのマナー等について講習会を開催した。

- ・北海道地域（北海道札幌市／北海道立総合体育センター）

実施日：令和 8 年 2 月 17 日 参加者 25 名

- ・関西地域（大阪府大阪市／新大阪丸ビル別館）

実施日：令和 8 年 3 月 3 日 参加者 90 名

別添 法人の運営体制の充実を図るための取組

本協会は、公益法人としての社会的責任を果たすため、自律的なガバナンスの充実および運営の透明性向上に向けて、令和7事業年度において以下の自主的な取組を実施した。

(1) 機関運営の充実および外部役員の活用

① 経営の透明性及び監督機能の強化

客観的かつ専門的な視点を法人運営に反映させるため、理事及び監事に本協会の会員ではない外部有識者（医師、獣医師等）を選任している。

各役員がその機能を十分に発揮できるよう、理事会を開催する7日前までに議案資料を配付し、外部役員を含む全役員が十分な検討時間を確保できるような環境を整えた。

また、重要な決議事項に際しては、理事会に先立ち事務局による事前説明を実施した。

② 理事会の活性化

理事会を計4回開催し、全役員が出席しやすいようWEB会議システムを併用して実施した。

第1回理事会（5月27日）においては、前事業年度の事業報告及び会計決算報告等を決定し、第3回理事会（令和8年2月24日）においては令和8事業年度事業計画及び収支予算の決定を行ったほか、業務執行状況の監督を適切に実施した。

③ 適切な監査の実施

監事は全ての理事会に出席したほか、業務及び財産状況の監査を計画的に実施し、監査報告書を作成した。

また、公認会計士・税理士により会計・税務の指導助言を受けることにより、監査の質的向上を図った。

(2) コンプライアンス・内部統制体制の整備

① 利益相反の管理

公益認定基準における「理事・監事間の特別利害関係の排除」を厳格に運用するため、各役員に対して就任時に「利益相反に関する申告書」の提出を求め、適正な確認を行った。

② 規程の整備と周知

法令遵守および情報セキュリティ強化のため、「個人情報保護規程」を運用している。

また、本年度は、全役職員を対象にコンプライアンスおよびハラスメント防止に関するコンプライアンス研修を実施し（令和8年2月）、規範意識の向上に努めた。

③ 通報窓口の運用

法人内部からの法令違反や不正行為の早期発見を目的とし、日本中央競馬会が設置する外部の弁護士事務所を通報先とした関連団体共通通報窓口を活用して、適切に運用した。

令和 7 年 度

会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	290,757,624	217,699,187	73,058,437	
現金	148,988	115,472	33,516	
普通預金	230,608,636	157,583,715	73,024,921	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	4,555,277	7,936,538	△ 3,381,261	
仮払金	51,136,890	51,892,970	△ 756,080	
概算払金	0	46,740	△ 46,740	
貯蔵品	7,701,154	5,771,667	1,929,487	
流動資産合計	354,150,945	283,347,102	70,803,843	
2. 固定資産				
(1)特定資産				
退職給付引当資産	34,369,708	32,316,536	2,053,172	
乗馬振興事業特別積立資産	21,319,489	21,445,649	△ 126,160	
再貸付事業積立資産	41,457,536	46,442,593	△ 4,985,057	
特定資産合計	97,146,733	100,204,778	△ 3,058,045	
(2)その他固定資産				
備品	568,209	925,484	△ 357,275	
ソフトウェア	2,135,034	2,808,784	△ 673,750	
電話加入権	372,008	372,008	0	
車両運搬具	2	2	0	
その他固定資産合計	3,075,253	4,106,278	△ 1,031,025	
固定資産合計	100,221,986	104,311,056	△ 4,089,070	
資産合計	454,372,931	387,658,158	66,714,773	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	6,973,470	10,149,862	△ 3,176,392	
仮受金	77,849,130	27,051,948	50,797,182	
預り金	813,056	803,371	9,685	
賞与引当金	5,616,800	5,498,431	118,369	
流動負債合計	91,252,456	43,503,612	47,748,844	
2. 固定負債				
退職給付引当金	34,369,708	32,316,536	2,053,172	
固定負債合計	34,369,708	32,316,536	2,053,172	
負債合計	125,622,164	75,820,148	49,802,016	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	5,319,489	5,445,649	△ 126,160	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(5,319,489)	(5,445,649)	(△126,160)	
2. 一般正味財産	323,431,278	306,392,361	17,038,917	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(57,457,536)	(62,442,593)	(△ 4,985,057)	
正味財産合計	328,750,767	311,838,010	16,912,757	
負債及び正味財産合計	454,372,931	387,658,158	66,714,773	

貸借対照表内訳表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	8,812,468	252,394,161	29,550,995		290,757,624	
現金	0	0	148,988		148,988	
普通預金	8,812,468	192,394,161	29,402,007		230,608,636	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	4,503,180	0	52,097		4,555,277	
仮払金	50,285,650	0	851,240		51,136,890	
貯蔵品	4,903,029	2,798,125	0		7,701,154	
流動資産合計	68,504,327	255,192,286	30,454,332	0	354,150,945	
2. 固定資産						
(1)特定資産						
退職給付引当資産	28,183,161	2,749,576	3,436,971		34,369,708	
乗馬振興事業特別積立資産	5,319,489	0	16,000,000		21,319,489	
再貸付事業積立資産	0	41,457,536	0		41,457,536	
特定資産合計	33,502,650	44,207,112	19,436,971	0	97,146,733	
(2)その他固定資産						
備品	479,803	39,291	49,115		568,209	
ソフトウェア	2,135,034	0	0		2,135,034	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
車両運搬具	2	0	0		2	
その他固定資産合計	2,886,405	80,212	108,636	0	3,075,253	
固定資産合計	36,389,055	44,287,324	19,545,607	0	100,221,986	
資産合計	104,893,382	299,479,610	49,999,939	0	454,372,931	
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	2,961,023	550	4,011,897		6,973,470	
仮受金	65,649,191	8,624,850	3,575,089		77,849,130	
預り金	0	26,689	786,367		813,056	
賞与引当金	4,605,776	449,344	561,680		5,616,800	
流動負債合計	73,215,990	9,101,433	8,935,033	0	91,252,456	
2. 固定負債						
退職給付引当金	28,183,161	2,749,576	3,436,971		34,369,708	
固定負債合計	28,183,161	2,749,576	3,436,971	0	34,369,708	
負債合計	101,399,151	11,851,009	12,372,004	0	125,622,164	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	5,319,489	0	0	0	5,319,489	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(5,319,489)	(0)	(0)		(5,319,489)	
2. 一般正味財産	△ 1,825,258	287,628,601	37,627,935	0	323,431,278	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(41,457,536)	(16,000,000)		(57,457,536)	
正味財産合計	3,494,231	287,628,601	37,627,935	0	328,750,767	
負債及び正味財産合計	104,893,382	299,479,610	49,999,939	0	454,372,931	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が345,388,641円ある。

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	176,058	21,598	154,460	
特定預金受取利息収益	176,058	21,598	154,460	
受取入会金及び会費	3,470,000	3,520,000	△ 50,000	
受取入会金及び会費	3,470,000	3,520,000	△ 50,000	
事業収益	108,561,126	115,663,978	△ 7,102,852	
登録料収益	46,446,800	45,623,400	823,400	
指導者資格認定試験料収益	2,653,000	2,856,000	△ 203,000	
乗馬技能認定料収益	41,769,200	44,335,500	△ 2,566,300	
参加料収益	9,189,390	14,485,000	△ 5,295,610	
再貸付事務手数料収益	2,393,886	1,985,948	407,938	
資格認定テキスト収益	6,108,850	6,378,130	△ 269,280	
受取補助金等	364,405,461	1,315,337,352	△ 950,931,891	
乗馬普及事業助成金	340,452,944	1,293,482,132	△ 953,029,188	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	0	1,613,334	△ 1,613,334	
乗馬普及事業助成金事業費振替額	15,102,460	14,850,277	252,183	
内国産馬生産奨励事業助成金	4,081,057	4,031,609	49,448	
スポーツ振興くじ助成金	4,769,000	1,360,000	3,409,000	
受取寄付金	13,477,700	6,704,074	6,773,626	
受取寄付金	1,454,000	0	1,454,000	
受取寄付金振替額	12,023,700	6,704,074	5,319,626	
雑収益	543,924	139,857	404,067	
受取利息収益	543,924	139,857	404,067	
経常収益計	490,634,269	1,441,386,859	△ 950,752,590	
(2) 経常費用				
事業費	462,868,699	1,413,091,613	△ 950,222,914	
役員報酬	8,931,582	6,512,382	2,419,200	
給与手当	54,821,335	58,020,618	△ 3,199,283	
社会保険料	10,016,817	10,559,789	△ 542,972	
福利厚生費	479,046	715,583	△ 236,537	
馬とのふれあい補助費	60,220,751	60,038,854	181,897	
乗用馬保健衛生補助費	37,261,086	36,146,219	1,114,867	
乗馬施設整備補助費	80,311,830	1,027,632,870	△ 947,321,040	
競技会奨励費及び賞品費	46,629,669	52,725,526	△ 6,095,857	
会議及び講習会費	39,268,001	38,490,276	777,725	
旅費交通費	58,093,156	54,250,333	3,842,823	
従事員賃金	9,819,632	7,826,433	1,993,199	
広報費	15,951,175	13,768,935	2,182,240	
備品及び借料費	10,885,283	11,326,837	△ 441,554	
減価償却費	1,343,898	3,493,663	△ 2,149,765	
消耗品費	958,852	1,119,743	△ 160,891	
図書印刷製本費	6,317,191	8,598,054	△ 2,280,863	
通信費	3,138,848	3,262,941	△ 124,093	
光熱及び水料	640,708	793,863	△ 153,155	
役務費	5,644,998	4,790,500	854,498	
租税公課	3,738,080	4,428,500	△ 690,420	
雑費	4,063,829	4,310,707	△ 246,878	
退職給付費用	4,226,400	4,073,400	153,000	
賞与引当金繰入	106,532	205,587	△ 99,055	
管理費	10,726,653	11,466,470	△ 739,817	
役員報酬	992,398	723,598	268,800	
給与手当	6,091,260	6,446,737	△ 355,477	
社会保険料	1,112,980	1,173,310	△ 60,330	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
福利厚生費	53,227	79,509	△ 26,282	
会議及び講習会費	13,726	72,741	△ 59,015	
旅費交通費	433,320	514,476	△ 81,156	
従事員賃金	135,789	125,633	10,156	
備品及び借料費	458,753	856,662	△ 397,909	
減価償却費	17,127	47,368	△ 30,241	
消耗品費	42,119	38,916	3,203	
図書印刷製本費	47,475	75,239	△ 27,764	
通信費	247,632	221,084	26,548	
光熱及び水料	71,190	78,107	△ 6,917	
役務費	387,485	388,998	△ 1,513	
租税公課	1,100	3,230	△ 2,130	
雑費	139,635	145,419	△ 5,784	
退職給付費用	469,600	452,600	17,000	
賞与引当金繰入	11,837	22,843	△ 11,006	
経常費用計	473,595,352	1,424,558,083	△ 950,962,731	
評価損益等調整前当期経常増減額	17,038,917	16,828,776	210,141	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	17,038,917	16,828,776	210,141	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
雑収益	3,500,000	0	3,500,000	
雑収益	3,500,000	0	3,500,000	
経常外収益計	3,500,000	0	3,500,000	
(2) 経常外費用				
雑費	3,500,000	0	3,500,000	
雑費	3,500,000	0	3,500,000	
経常外費用計	3,500,000	0	3,500,000	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	17,038,917	16,828,776	210,141	
一般正味財産期首残高	306,392,361	289,563,585	16,828,776	
一般正味財産期末残高	323,431,278	306,392,361	17,038,917	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	17,000,000	17,000,000	0	
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0	
一般正味財産への振替額	△ 27,126,160	△ 23,167,685	△ 3,958,475	
当期指定正味財産増減額	△ 126,160	3,832,315	△ 3,958,475	
指定正味財産期首残高	5,445,649	1,613,334	3,832,315	
指定正味財産期末残高	5,319,489	5,445,649	△ 126,160	
Ⅲ 正味財産期末残高	328,750,767	311,838,010	16,912,757	

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	47,490	47,490	2,896	75,880	0	78,776	49,792	176,058	
特定預金受取利息収益	47,490	47,490	2,896	75,880	0	78,776	49,792	176,058	
受取入会金及び会費	1,735,000	1,735,000	0	0	0	0	1,735,000	3,470,000	
受取入会金及び会費	1,735,000	1,735,000	0	0	0	0	1,735,000	3,470,000	
事業収益	59,720,440	59,720,440	46,446,800	2,393,886	0	48,840,686	0	108,561,126	
登録料収益	0	0	46,446,800	0	0	46,446,800	0	46,446,800	
指導者資格認定試験料収益	2,653,000	2,653,000	0	0	0	0	0	2,653,000	
乗馬技能認定料収益	41,769,200	41,769,200	0	0	0	0	0	41,769,200	
参加料収益	9,189,390	9,189,390	0	0	0	0	0	9,189,390	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	2,393,886	0	2,393,886	0	2,393,886	
資格認定テキスト収益	6,108,850	6,108,850	0	0	0	0	0	6,108,850	
受取補助金等	351,009,741	351,009,741	3,721,033	2,232,620	0	5,953,653	7,442,067	364,405,461	
乗馬普及事業助成金	327,057,224	327,057,224	3,721,033	2,232,620	0	5,953,653	7,442,067	340,452,944	
乗馬普及事業助成金事業費振替額	15,102,460	15,102,460	0	0	0	0	0	15,102,460	
内国産馬生産奨励事業助成金	4,081,057	4,081,057	0	0	0	0	0	4,081,057	
スポーツ振興くじ助成金	4,769,000	4,769,000	0	0	0	0	0	4,769,000	
受取寄付金	13,477,700	13,477,700	0	0	0	0	0	13,477,700	
受取寄付金	1,454,000	1,454,000	0	0	0	0	0	1,454,000	
受取寄付金振替額	12,023,700	12,023,700	0	0	0	0	0	12,023,700	
雑収益	408,185	408,185	24,889	61,072	0	85,961	49,778	543,924	
受取利息収益	408,185	408,185	24,889	61,072	0	85,961	49,778	543,924	
経常収益計	426,398,556	426,398,556	50,195,618	4,763,458	0	54,959,076	9,276,637	490,634,269	
(2) 経常費用									
事業費	452,773,539	452,773,539	6,876,944	3,218,216	0	10,095,160	—	462,868,699	
役員報酬	8,137,664	8,137,664	496,199	297,719	0	793,918	—	8,931,582	
給与手当	49,948,327	49,948,327	3,045,630	1,827,378	0	4,873,008	—	54,821,335	
社会保険料	9,126,433	9,126,433	556,490	333,894	0	890,384	—	10,016,817	
福利厚生費	436,464	436,464	26,614	15,968	0	42,582	—	479,046	
馬とのふれあい補助費	60,220,751	60,220,751	0	0	0	0	—	60,220,751	
乗用馬保健衛生補助費	37,261,086	37,261,086	0	0	0	0	—	37,261,086	
乗馬施設整備補助費	80,311,830	80,311,830	0	0	0	0	—	80,311,830	
競技会奨励費及び賞品費	46,629,669	46,629,669	0	0	0	0	—	46,629,669	
会議及び講習会費	39,257,020	39,257,020	6,863	4,118	0	10,981	—	39,268,001	
旅費交通費	57,398,289	57,398,289	564,871	129,996	0	694,867	—	58,093,156	
従事員賃金	9,498,000	9,498,000	280,895	40,737	0	321,632	—	9,819,632	
広報費	15,951,175	15,951,175	0	0	0	0	—	15,951,175	
備品及び借料費	10,518,281	10,518,281	229,376	137,626	0	367,002	—	10,885,283	
減価償却費	1,330,195	1,330,195	8,564	5,139	0	13,703	—	1,343,898	
消耗品費	910,638	910,638	35,579	12,635	0	48,214	—	958,852	
図書印刷製本費	5,661,562	5,661,562	641,387	14,242	0	655,629	—	6,317,191	
通信費	2,824,839	2,824,839	239,719	74,290	0	314,009	—	3,138,848	
光熱及び水料	583,756	583,756	35,595	21,357	0	56,952	—	640,708	
役務費	5,335,011	5,335,011	193,742	116,245	0	309,987	—	5,644,998	
租税公課	3,736,800	3,736,800	1,280	0	0	1,280	—	3,738,080	
雑費	3,747,966	3,747,966	273,422	42,441	0	315,863	—	4,063,829	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
退職給付費用	3,850,720	3,850,720	234,800	140,880	0	375,680	—	4,226,400	
賞与引当金繰入	97,063	97,063	5,918	3,551	0	9,469	—	106,532	
管理費	—	—	—	—	—	—	10,726,653	10,726,653	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	992,398	992,398	
給与手当	—	—	—	—	—	—	6,091,260	6,091,260	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,112,980	1,112,980	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	53,227	53,227	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	13,726	13,726	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	433,320	433,320	
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	135,789	135,789	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	458,753	458,753	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	17,127	17,127	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	42,119	42,119	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	47,475	47,475	
通信費	—	—	—	—	—	—	247,632	247,632	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	71,190	71,190	
役務費	—	—	—	—	—	—	387,485	387,485	
租税公課	—	—	—	—	—	—	1,100	1,100	
雑費	—	—	—	—	—	—	139,635	139,635	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	469,600	469,600	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	11,837	11,837	
経常費用計	452,773,539	452,773,539	6,876,944	3,218,216	0	10,095,160	10,726,653	473,595,352	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,374,983	△ 26,374,983	43,318,674	1,545,242	0	44,863,916	△ 1,450,016	17,038,917	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 26,374,983	△ 26,374,983	43,318,674	1,545,242	0	44,863,916	△ 1,450,016	17,038,917	
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
雑収益	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
雑収益	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
経常外収益計	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
(2)経常外費用									
雑費	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
雑費	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
経常外費用計	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 26,374,983	△ 26,374,983	43,318,674	1,545,242	0	44,863,916	△ 1,450,016	17,038,917	
他会計振替額	22,314,984	22,314,984	△ 23,009,442	△ 502,485	0	△ 23,511,927	1,196,943	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,059,999	△ 4,059,999	20,309,232	1,042,757	0	21,351,989	△ 253,073	17,038,917	
一般正味財産期首残高	2,234,741	2,234,741	218,000,337	48,276,275	0	266,276,612	37,881,008	306,392,361	
一般正味財産期末残高	△ 1,825,258	△ 1,825,258	238,309,569	49,319,032	0	287,628,601	37,627,935	323,431,278	
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	17,000,000	17,000,000	0	0	0	0	0	17,000,000	
受取寄付金	10,000,000	10,000,000	0	0	0	0	0	10,000,000	
一般正味財産への振替額	△ 27,126,160	△ 27,126,160	0	0	0	0	0	△ 27,126,160	
当期指定正味財産増減額	△ 126,160	△ 126,160	0	0	0	0	0	△ 126,160	
指定正味財産期首残高	5,445,649	5,445,649	0	0	0	0	0	5,445,649	
指定正味財産期末残高	5,319,489	5,319,489	0	0	0	0	0	5,319,489	
Ⅲ 正味財産期末残高	3,494,231	3,494,231	238,309,569	49,319,032	0	287,628,601	37,627,935	328,750,767	

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

なし。

4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	32,316,536	4,696,000	2,642,828	34,369,708
乗馬振興事業特別積立資産	21,445,649	0	126,160	21,319,489
再貸付事業積立資産	46,442,593	1,196,943	6,182,000	41,457,536
合 計	100,204,778	5,892,943	8,950,988	97,146,733

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	34,369,708	0	0	34,369,708
乗馬振興事業特別積立預金	21,319,489	5,319,489	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	41,457,536	0	41,457,536	0
合 計	97,146,733	5,319,489	57,457,536	34,369,708

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	5,076,666	4,508,457	568,209
ソフトウェア	6,573,399	4,438,365	2,135,034
電話加入権	372,008	0	372,008
車両運搬具	2,000,000	1,999,998	2

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
合 計	14, 022, 073	10, 946, 820	3, 075, 253

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会助成金	日本中央競馬会	0	125, 392, 911	125, 392, 911	0	
競馬振興特別助成金【3項①】 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業	日本中央競馬会	0	23, 672, 669	23, 672, 669	0	
競馬振興特別助成金【3項②】 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業	日本中央競馬会	0	1, 207, 770	1, 207, 770	0	
競馬振興特別助成金【3項③】 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業	日本中央競馬会	0	54, 594, 435	54, 594, 435	0	
競馬振興特別助成金【3項④】 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業	日本中央競馬会	0	49, 990, 051	49, 990, 051	0	
競馬振興特別助成金【3項⑤】 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業	(一財) Thoroughbred Aftercare and Welfare	10, 500, 000	0	10, 500, 000	0	
競馬振興特別助成金【3項⑥】 馬事公苑における馬介在活動等を展開するための事業	日本中央競馬会	0	101, 781, 257	41, 820, 880	59, 960, 377	流動負債
畜産振興事業助成金【4項】 乗用馬防疫推進事業	(公財)全国競馬・ 畜産振興会	0	37, 244, 286	37, 244, 286	0	
畜産振興事業助成金【4項】 多様なニーズに対応する馴致調教指導事業	(公財)全国競馬・ 畜産振興会	0	4, 081, 057	4, 081, 057	0	
スポーツ振興くじ助成金	(独)日本スポーツ 振興センター	0	4, 769, 000	4, 769, 000	0	
引退競走馬支援事業に関する活動奨励金	中央競馬 馬主相互会	2, 149, 723	17, 000, 000	15, 102, 460	4, 047, 263	指定正味財産
寄付金	J R Aシステム サービス(株)	3, 295, 926	10, 000, 000	12, 023, 700	1, 272, 226	指定正味財産
寄付金	日本騎手クラブ	0	1, 454, 000	1, 454, 000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取補助金・受取寄付金等振替額	27, 126, 160
合 計	27, 126, 160

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	34,369,708
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	34,369,708

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,696,000
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,696,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

付 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,498,431	5,616,800	5,498,431	0	5,616,800
退職給付引当金	32,316,536	4,696,000	2,642,828	0	34,369,708

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
	現金 預金	手元保管	運転資金として	148,988	
		普通預金		230,608,636	
		三菱UFJ銀行 本店（4口座）	運転資金として	194,447,203	
		三井住友銀行 経堂支店（4口座）	〃	30,499,436	
	未収金	三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店（2口座）	〃	5,661,997	
		定期預金		60,000,000	
	仮払金	三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000	
		日本中央競馬会からの助成金	乗馬普及事業の補助金の未収分	4,555,277	
	貯蔵品	社会保険料の自己負担分	法人会計管理費の未収分	4,503,180	
		次年度事業にかかる傷害保険料等	乗馬普及事業の事業費	51,136,890	
	仮払金	次年度執行分の補助金 1団体	乗馬施設等登録事業で事業費を立替	743,650	
		次年度にかかる傷害保険料等	法人会計管理費	49,542,000	
	貯蔵品		法人会計管理費	851,240	
		「レッツエンジョイライディング」等のテキスト	乗馬普及事業のテキストの在庫	7,701,154	
	貯蔵品	類 3,637冊		3,310,669	
		ボニーライダー認定の認定バッジ 1,320個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	1,592,360	
	貯蔵品	ロールペーラ	乗馬施設活性化支援事業の物品の在庫	2,798,125	
	流動資産合計				354,150,945
	(固定資産)				
特定資産					
	退職給付引当資産	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役職員に対する退職金の支払に備えた預金	34,369,708	
		定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	9,369,708	
	乗馬振興事業特別 積立資産	普通預金 三菱UFJ銀行 本店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	25,000,000	
		定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	21,319,489	
	再貸付事業積立 資産	普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借り入れ物件に対する保 障の積立預金	5,319,489	
		定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	〃	16,000,000	
	備品	事務所パソコン及び什器類 11件	乗馬施設活性化事業の借り入れ物件に対する保 障の積立預金	41,457,536	
		乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 6件	〃	13,230,285	
	ソフトウェア	5回線分	公益目的保有財産の備品は479,803円であり、 乗馬普及事業に使用している。その他、収益 業等会計として39,291円、法人会計として 49,115円の備品を使用している。	28,227,251	
		電話加入権	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であ り、乗馬普及事業に使用している。その他、収 益事業等会計として40,921円、法人会計として 59,521円の電話加入権を使用している。	568,209	
	車両運搬具	馬運車（牽引車） 4台	公益目的保有財産の車両は2円であり、 乗馬普及事業に使用している。	2,135,034	
				372,008	
固定資産合計				100,221,986	
資産合計				454,372,931	
(流動負債)					
	未払金	通信費、保管料、旅費、地区への共催金等 14件	乗馬普及事業の事業経費	6,973,470	
		臨時従事員への3月分給与等	〃	1,031,953	
		消費税	消費税納税分	411,970	
		証明書発行等の銀行手数料	乗馬施設活性化事業の事業経費	1,517,100	
	仮受金	賃料、通信費、消耗品費等の事務管理費 21件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	550	
		社会保険料	役職員等に対する3月の社会保険料	2,603,328	
		給与手当等	職員・臨時従事員に対する3月分給与等	970,379	
		指導者競技会の参加料	乗馬普及事業の次年度分	438,190	
	預り金	誤入金の返還分	乗馬施設等登録事業の返還分	77,849,130	
		指導者登録料等 699人分	乗馬施設等登録事業の次年度分	80,000	
再貸付事業の貸付料、事務手数料等		乗馬施設活性化事業の次年度分	12,000		
日本中央競馬会からの助成金		乗馬普及事業の次年度分	8,388,000		
賞与引当金	〃	助成金未使用分の返還分	224,850		
	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	〃	59,960,377		
	所得税	役職員及び委員等に対する3月分所得税	3,575,089		
	住民税	役職員に対する3月分住民税	5,608,814		
	賞与引当金	乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	乗馬施設活性化事業の事業経費等の預かり分	813,056	
		職員に対する12～3月分の賞与分	職員に対する12～3月分の賞与分	492,167	
			294,200		
			26,689		
			5,616,800		
流動負債合計				91,252,456	
(固定負債)					
	退職給付引当金	役職員に対するもの	役職員に対する退職金の支払に備えたもの	34,369,708	
				34,369,708	
固定負債合計				34,369,708	
負債合計				125,622,164	
正味財産				328,750,767	

監 査 報 告

令和 8 年 5 月 11 日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 武 宮 忠 彦 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 野 中 亮 一

私たち監事は、定款第 2 3 条の規定に基づき、令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。